



NIPPON SAN SO HOLDINGS

BofA証券 | 2023 Hydrogen Conference

当社企業紹介

2023年12月19日
米国・東京 (日本) 共同開催

The Gas Professionals

重要な注意事項

本注意事項において、「プレゼンテーション」とは、本プレゼンテーションにおいて、日本酸素ホールディングス株式会社（以下、「日本酸素HD」）によって説明または配布された本書類、口頭でのプレゼンテーション、質疑応答及び書面または口頭等の資料を意味します。本プレゼンテーション（それに関する口頭の説明および質疑応答を含みます）は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申込み、交換、売却その他の処分の提案、案内もしくは勧誘、または、いかなる投票もしくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明または形成するものではありません。また、これを行うことを意図しておりません。本プレゼンテーションにより、株式または有価証券の募集を公に行うものではありません。本プレゼンテーションは、投資、取得、処分その他の取引の検討のためではなく、情報提供のみを目的として、受領者に使用されるという条件の下で、受領者に対して提供される追加情報とともに提供されております。この制限を遵守しなかった場合には、適用のある証券関連法規の違反となる可能性がございます。日本酸素HDが直接的に、または間接的に投資している会社は別々の会社になります。本プレゼンテーションにおいて、「日本酸素HD」という用語は、日本酸素HDおよびそのグループ会社全般を参照するものとして便宜上使われていることがあります。また、同様に「当社、当社グループ」という用語は、子会社全般またはそこで勤務するものを参照していることもありえます。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることがあります。

・将来に関する見通し情報

本プレゼンテーションおよび本プレゼンテーションに関して配布された資料には、日本酸素HDの理念または見解、目標及び計画を含む当社の将来の事業、将来のポジションおよび業績に関する将来見通し情報、見積もり、予測が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする」「計画する」「信じる」「望む」「継続する」「期待する」「めざす」「意図する」「確実にする」「だろう」「かもしれない」「すべきである」「であろう」「することができた」「予想される」「見込む」「予想する」などの意思や推量をあらわす用語もしくは同様の表現またはそれらの否定表現を含むことが多いですが、それに限られません。これらの将来見通しに関する情報は、多くの重要な要因に関する前提や想定に基づいており、実績としてあらわれる業績では、将来見通し情報を通じて明示または暗示された将来の業績とは異なる可能性があります。その重要な要因には、国内外の一般的な経済条件を含む、当社のグローバルな事業を取り巻く経済状況、競合製品の開発・出現、関連法規の変更、規制当局による判断とその時期、金利及び為替の変動、販売された製品または試験・候補製品の安全性または有効性に関するクレームまたは懸念等、新型コロナウイルス感染症のような健康危機が当社の事業を行う国・地域の政府を含む当社とその顧客および供給業者に及ぼす影響、買収対象企業とのPMI（Post Merger Integration:買収後統合）の時期及び影響、日本酸素HDの事業資産を売却する能力およびかかる資産売却のタイミング、当社のWebサイトにおいて閲覧可能な日本国の有価証券報告書関連法規に沿って提出された最新の年次有価証券報告書及び当社の他の報告書において特定されたその他の要因が含まれます。日本酸素HDは、関連法規や証券取引所の関連規制により要請される場合を除き、本プレゼンテーションに含まれる情報または当社が提示するあらゆる将来見通し情報を更新する義務を負うものではありません。過去の実績は、将来の経営結果の指針とはなりません。本プレゼンテーションにおける日本酸素HDの経営成績は、日本酸素HDの将来の経営成績またはその公表を示すものではなく、その予測、予想、保証または見積もりではないことにご留意ください。

・国際会計基準（IFRS）に準拠しない財務指標

本プレゼンテーションには、コア営業利益、有利子負債、純有利子負債、調整後ネットD/Eレシオ、フリー・キャッシュ・フロー、ROCE after Taxのように、IFRSに準拠しない財務指標（以下、「当社独自指標」）が含まれています。当社役員及び執行役員は、業績評価ならびに経営および投資判断をIFRSおよびIFRS以外の指標に基づき実施しています。当社独自指標においては、最も近いIFRS財務指標では含まれることとなる、または異なる数値となる一定の利益、費用およびキャッシュ・フロー項目を除外しております。当社独自指標を提供することで、当社役員及び執行役員は、投資家の皆さまに対して、当社の経営状況、主要な業績および動向のさらなる分析のための付加的な情報を提供したいと考えており、当社独自指標は、付加的なものであり、また、IFRSに準拠する財務指標に代替するものではありません。投資家の皆さまにおかれましては、当社独自指標について、これらによく対応するIFRSに準拠した財務指標との照合を行っていただきますように、お願い申し上げます。

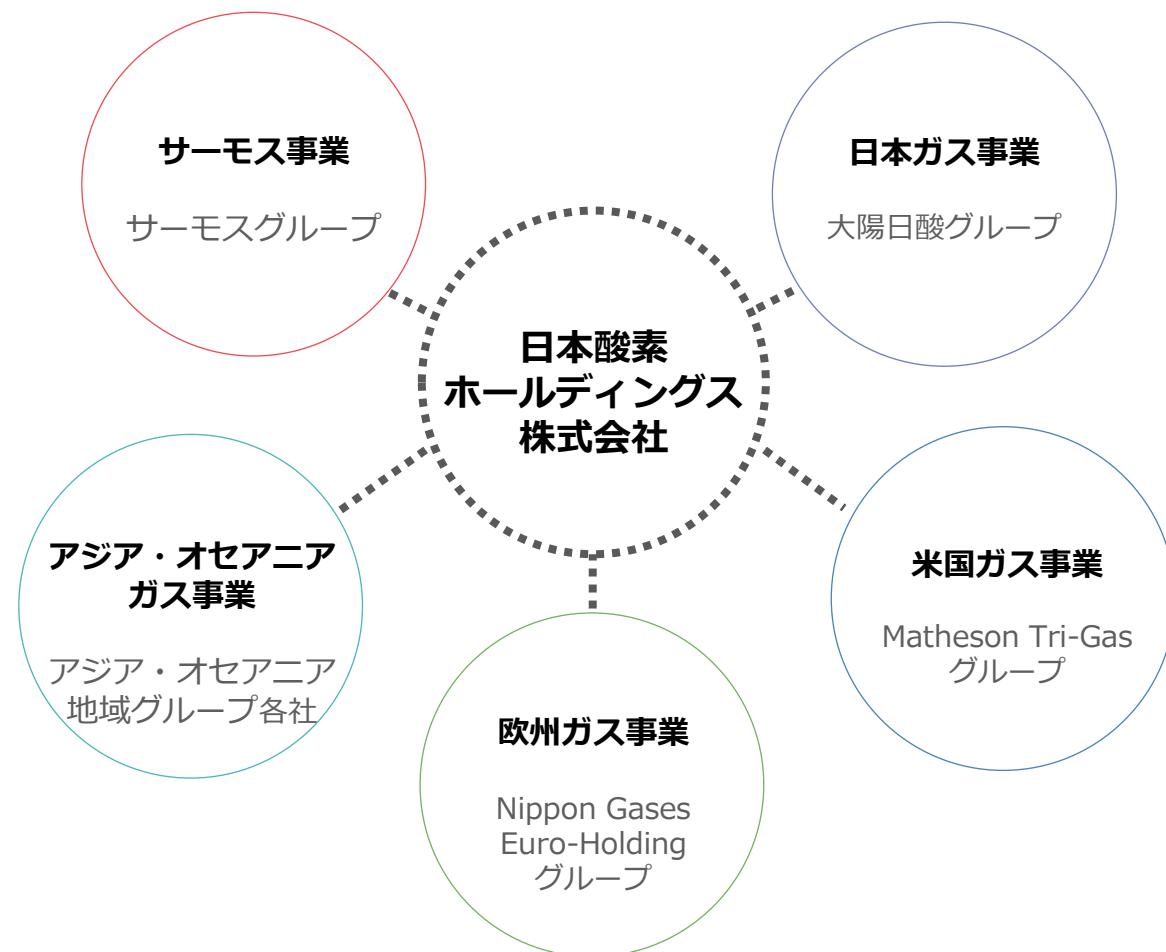
・財務情報

当社の財務情報は、国際会計基準（IFRS）に基づき作成しております。

企業概要

商号	日本酸素ホールディングス株式会社
証券コード <small>(東京証券取引所)</small>	4091.T
創業年月日	1910年(明治43年)10月30日
本社所在地	東京都品川区小山1-3-26
代表取締役社長CEO	濱田 敏彦
連結従業員数 <small>(2023年3月31日現在)</small>	19,579名
売上収益 <small>[2023年3月期]</small>	1兆1,866億円
営業利益 <small>[2023年3月期]</small>	1,195億円
営業利益率 <small>[2023年3月期]</small>	10.1%
事業展開エリア	32の国および地域

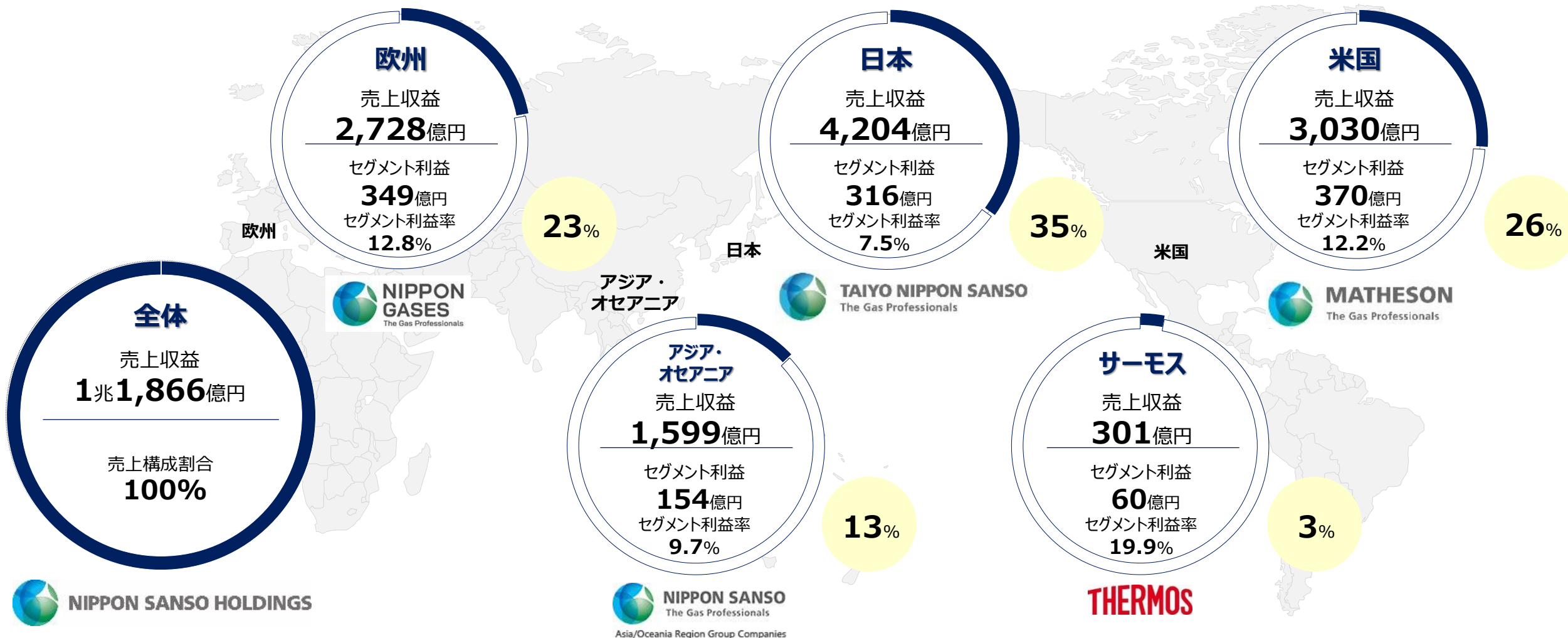
日本酸素ホールディングスグループ運営体制



事業展開

*各セグメントの数値は2023年3月期通期のものです。

*黄色円グラフ中の数値 (%) は各セグメントの売上構成割合です。



主要な事業

● : 売上構成
(FYE2023通期実績)

産業ガス事業

79%



主な製品

- 酸素
- 窒素
- アルゴン
- 水素, 一酸化炭素および合成ガス
- 炭酸ガス
- ヘリウム
- 関係する機器・設備、工事

エレクトロニクス事業

18%



主な製品

- AsH_3 (アルシン)
- B_2H_6 (ジボラン)
- CH_3F (モノフルオロメタン)
- HCl (塩化水素)
- PH_3 (ホスフィン)
- SiH_4 (シラン)
- 関係する機器・設備、工事

サーモス事業

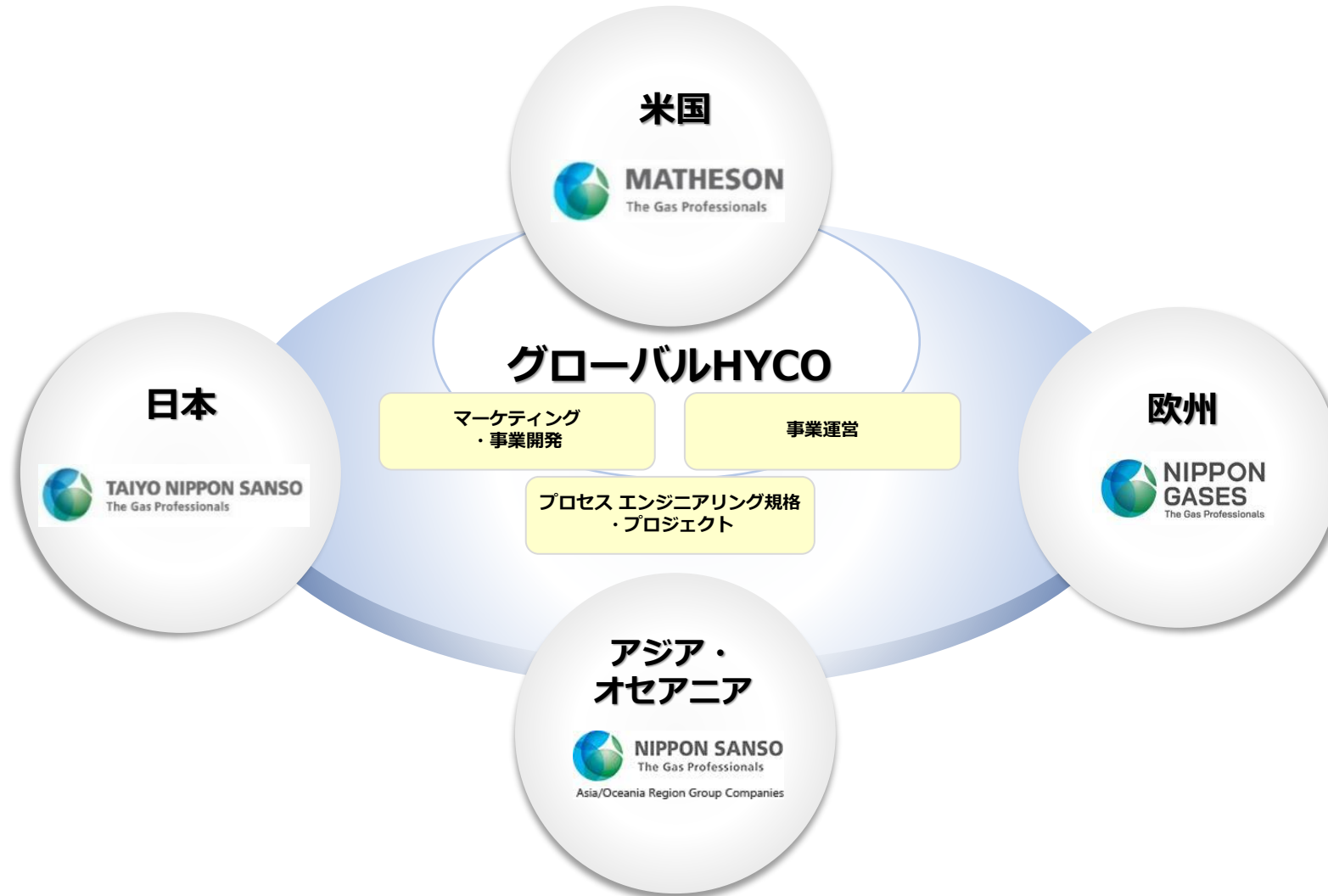
3%



主な製品

- スポーツボトル
- ケータイマグ
- タンブラー
- フライパン
- お鍋
- お皿

グローバルHYCO



(備考) このプレゼンテーションでは、以下のように用語を使い分けています。

- ・ HyCO: 水素 (H₂) , 一酸化炭素 (CO) , 合成ガス (Syngas) に加え、二酸化炭素 (CO₂) の製品群を示す
- ・ HYCO: 私たちの当該事業領域を示す

グローバルHYCO-投資／開発の焦点

- 工場／供給の誠実な品質と既存事業拠点での成長性
- 選ばれた国/地域における地理的な事業拠点の確立
 - ・ 立地条件、適合性、成長性で選ぶ
 - ・ HYCOで特定の国をリード
 - HYCOの専門知識基盤を活用
 - 重要な機会の規模
- 顧客側の投資に伴う、統合型ソリューション／価値の開発に注力
- ケースに応じてカスタマイズされた“ブルー”水素の事業モデル
- 利用電力の全体的な影響を含む“グリーン”水素への選択的関与
- 技術開発の選択

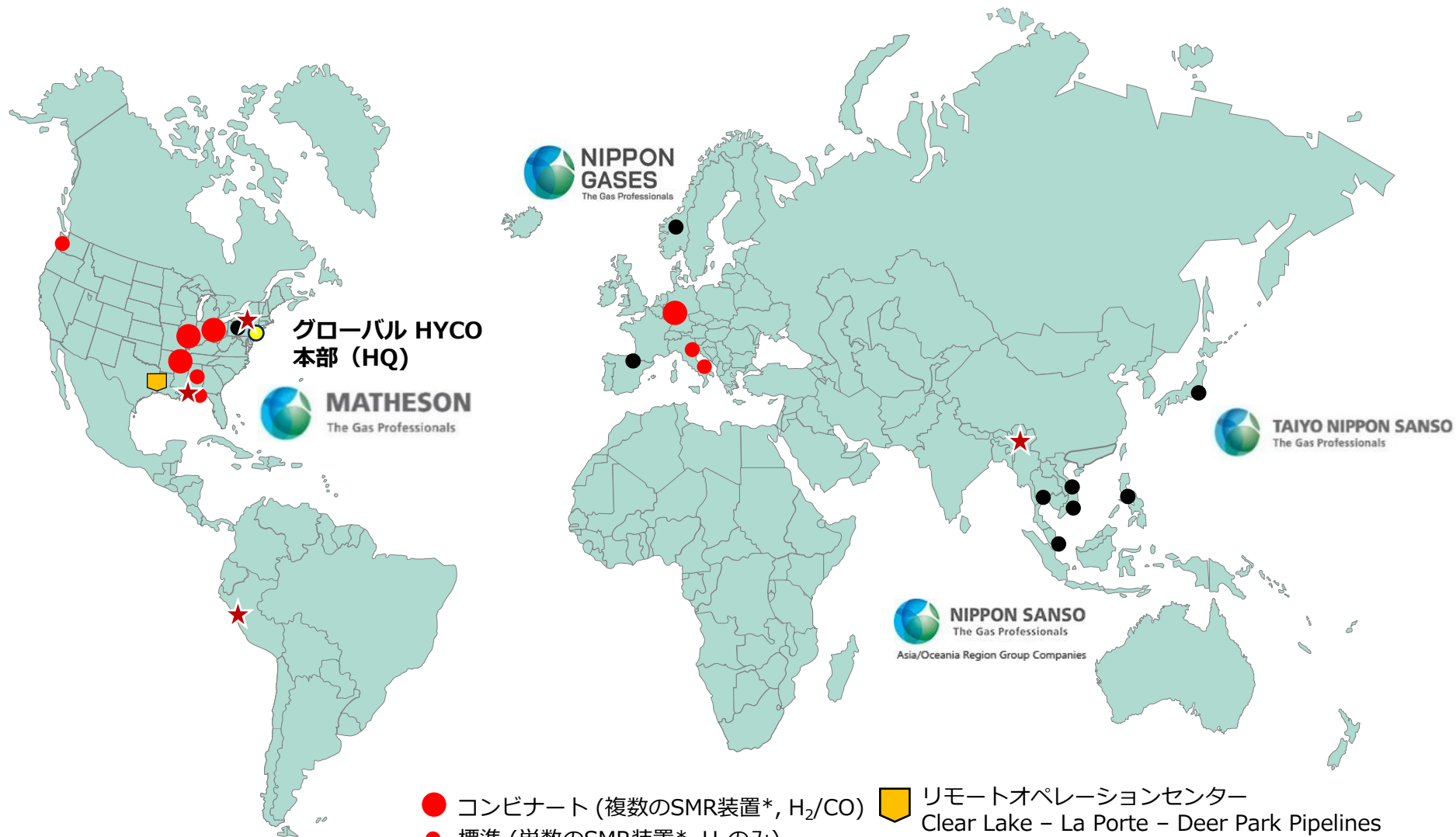
グローバルHYCO-プラント設計/EPC*アプローチ

- パートナーシップの選択
 - 技術/範囲に特化し、厳選
 - 特定の地域/ケース – EPC*¹
- 信頼性とライフサイクルO&M*²に基づく Matheson/NSHD設計仕様
- クラス最高のライフサイクル・オペレーションを目指す
 - 単一の工場ベースで、99.5%以上の信頼性
 - トップクラスの安全性能
 - コラボレーションを通じたパフォーマンス
 - 現場スタッフと専門家
 - リモート・オペレーション・センターと各種ツール
 - HYCO プロセスとプロジェクトの専門家
 - 継続的なフィードバックのプラント設計、計装・制御への反映

*1 EPC: 設計エンジニアリング (Engineering)、調達 (Procurement)、建設 (Construction)

*2 O&M: 操業 (Operation) & 保全 (Maintenance)

HyCOプラントのグローバルマップ



*SMR装置: 水蒸気改質(steam methane reformer)装置

グローバルHYCOオペレーションの実績 - 信頼性

水素供給事業実績 - 信頼性

11年間

生産拠点	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	平均
Lima-1	99.60%	99.81%	99.93%	99.91%	99.56%	98.05%	99.92%	99.91%	99.87%	98.74%	100.00%	99.57%
Lima-2	98.37%	99.53%	99.98%	99.44%	100.00%	99.80%	100.00%	99.85%	99.99%	100.00%	100.00%	99.72%
Lima-3					99.38%	99.41%	100.00%	99.06%	100.00%	98.96%	99.26%	99.44%
Lemont-1	100.00%	99.95%	99.34%	97.75%	99.89%	99.73%	99.34%	99.97%	99.67%	99.98%	99.56%	99.56%
Lemont-2	98.32%	90.04%	99.13%	99.98%	98.88%	99.26%	99.50%	99.71%	99.85%	99.80%	99.72%	98.56%
McIntosh 2	99.58%	99.62%	100.00%	99.68%	100.00%	99.40%	99.85%	99.97%	98.52%	93.67%	99.87%	99.11%
Saraland	99.82%	99.81%	99.40%	99.71%	97.83%	99.37%	99.98%	97.04%	98.85%	99.91%	99.79%	99.23%
Anacortes	97.38%	99.17%	99.80%	99.91%	99.67%	99.98%	99.72%	99.63%	99.01%	90.18%	99.33%	98.53%
Pensacola							97.42%	99.59%	99.42%	97.86%	99.72%	98.80%
Talara PHP											98.40%	98.40%
Talara NIS										99.04%	99.95%	99.50%
平均	99.01%	98.27%	99.65%	99.48%	99.40%	99.37%	99.53%	99.41%	99.46%	97.81%	99.60%	99.30%



MATHESON

The Gas Professionals



グローバルHYCOオペレーションの実績 - 安全性

水素供給事業実績 - 負傷件数

生産拠点	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
Lima-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Lima-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Lima-3				0	0	0	0	0	0	0	0
Lemont-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Lemont-2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
McIntosh	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Mobile-Saraland	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Anacortes	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Pensacola								0	0	0	0
Talara (ペルー)										0	0

現在の主要なスタッフ、経営陣、プロセスによる達成

8年間無事故 - 水素 (H_2)、合成ガス (Syngas)、炭化水素 (HyCO) の事業で他に類を見ない

新規プロジェクトの実行

事業拠点	国	主要な特徴と進捗
ヌマリガル, アッサム州 Numaligarh, Assam	インド 	最大級のマルチフィードSMRベース水素プラント EPCは順調に進捗。 Larsen & ToubroがEPC全体のパートナー。 Topsoe社から改質装置のライセンスを取得。 FYE2023 4Q後半 に契約締結。
サラランド, アラバマ州 Saraland, Alabama	米国 	再生可能ディーゼル・プラントと原料の燃料を統合した水素プラント EPCは順調に進捗。 TK Uhde設計の改質装置。 FYE2022 2Q に契約締結。
タララ, ペルー Talara, Peru	ペルー 	南米最大のマルチフィード水素プラント/供給スキーム Petroperu社が設立。 現在、Matheson HYCOによる試運転と初期操業が進行中。
セントメアリー, ペンシルベニア州 St. Marys, PA	米国 	地元パイプライン網と周辺地域ビジネスに供給するミニ水素プラント 初期運転完了。 リンデエンジニアリングのプラント。

まとめ

確立

- NSHDのHYCO事業は、企業全体で極めて安全で信頼性の高いHYCOを確立しています
- さまざまなタイプの技術に対応したプラント規格を確立したことにより、将来に向けた確かなプラント設計が可能になります

成長

- NSHD HYCO事業の取り組みと協業は、大規模なプロジェクト、重要な長期契約の締結、大幅な拠点の増強につながっています

将来

- 事業目標（例）：
 - 米国/欧州/日本における特定の市場セグメントで、段階的な炭素削減ソリューションに関連する地位を確立します
 - 経済的な構造安定性に応じて選択された生産・応用技術のための戦略的提携をめざします

The Gas Professionals

質疑応答



Head,
Global HYCO,
Matheson-Tri Gas, Inc.

Raghu Menon



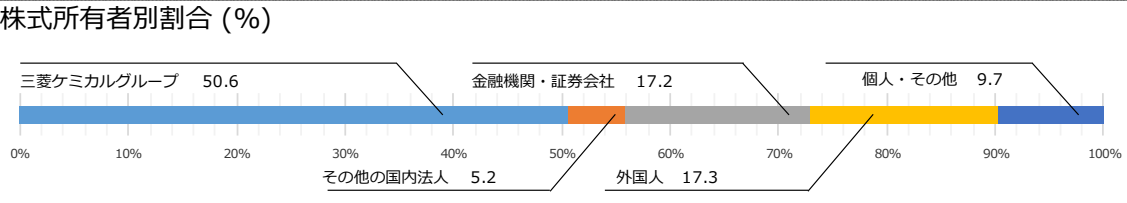
財務・経理室
IR部長

梶山 慶太

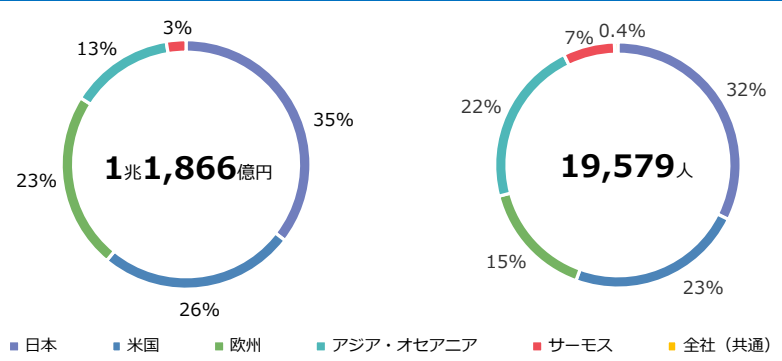
Appendix

会社概要	
(2023年3月31日現在)	
商号	日本酸素ホールディングス株式会社
(英文名称)	Nippon Sanso Holdings Corporation
設立	明治43年(1910年) 10月30日
本社所在地	東京都品川区小山1-3-26
電話番号	03-5788-8500 (代表)
代表者	代表取締役社長 CEO 濱田 敏彦
資本金	373億44百万円

株式情報	
(2023年3月31日現在)	
発行済み株式総数	433,092,837 株
株主数	14,743 人
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
証券コード	4091.T



セグメント別売上割合および連結従業員数構成比 (2023年3月31日現在)



企業理念

グループ理念

進取と共創。ガスで未来を拓く。

Proactive. Innovative. Collaborative.
Making life better through gas technology.

The Gas Professionals

グループビジョン

私たちは、革新的なガスソリューションにより、社会に新たな価値を提供し、あらゆる産業の発展に貢献すると共に、人と社会と地球の心地よい未来の実現をめざします。

We aim to create social value through innovative gas solutions that increase industrial productivity, enhance human well-being and contribute to a more sustainable future.

主要事業



2024年3月期 業績予想 (IFRS)

売上収益	1兆2,300 億円	親会社の所有者に帰属する当期利益	970 億円
営業利益	1,630 億円	EPS (1株あたり当期利益)	224.09 円



概要

計画名称	NS Vision 2026
スローガン	Enabling the Future
設定期間	2022年4月から2026年3月までの4年間
発表日	2022年5月11日

財務目標

(当計画 最終事業年度：2026年3月期)

売上収益	9,750-10,000 億円
コア営業利益	1,250-1,350 億円
EBITDAマージン	グループ： 日本, 米国, 欧州, アジア・オセアニア, サーマス： ≥24 % 日本, 米国, 欧州, アジア・オセアニア, サーマス： ≥17-33%
調整後ネットD/Eレシオ	≤0.7 倍
ROCE after Tax	≥6 %

(備考) 為替換算レート(想定)：USD ¥115 EUR ¥125

非財務目標

<環境>

GHG排出量の削減率	2026年3月期：	18 %
(基準年度：2019年3月期)	2031年3月期：	32 %

環境貢献製商品によるGHG削減量	2026年3月期：環境貢献製商品によるGHG削減貢献量 > 当社グループのGHG排出量
------------------	--

<保安>

休業災害度数率	2026年3月期：	≤1.6
---------	-----------	------

<コンプライアンス>

コンプライアンス研修受講率	2026年3月期：	100 %
---------------	-----------	-------

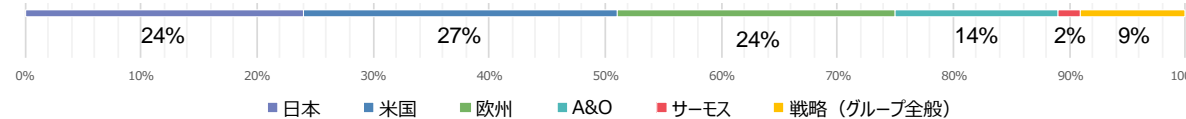
<人事>

女性従業員比率	2026年3月期：	≥22 %
	2031年3月期：	25 %
女性管理職比率	2026年3月期：	≥18 %
	2031年3月期：	22 %

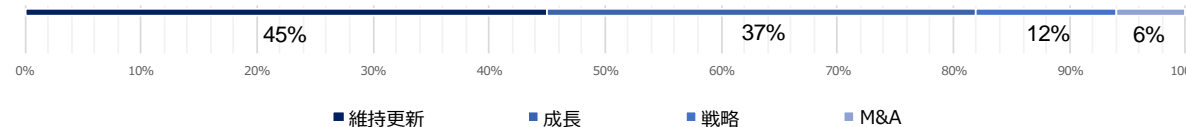
資本配分

キャッシュイン	(4年間合計)
[営業キャッシュ・フロー]	7,300 億円
キャッシュアウト	4,330 億円
[投資全般]	

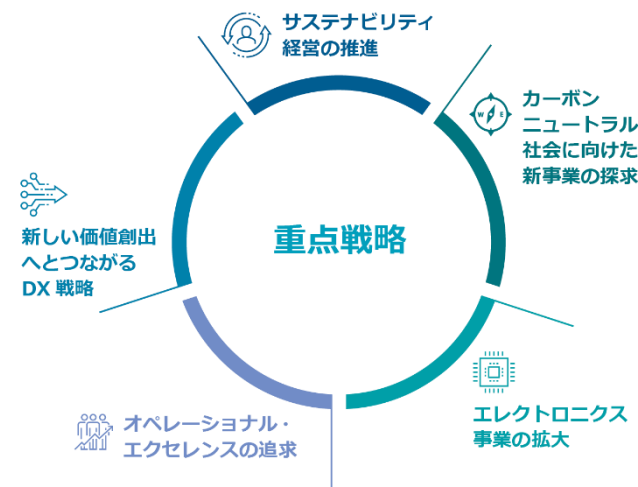
事業別構成比



目的別構成比

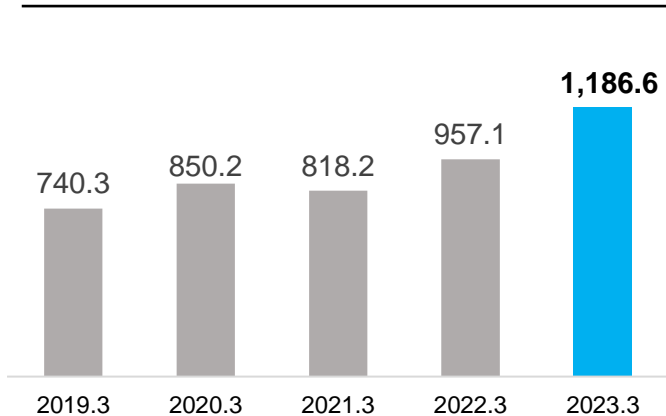


重点戦略

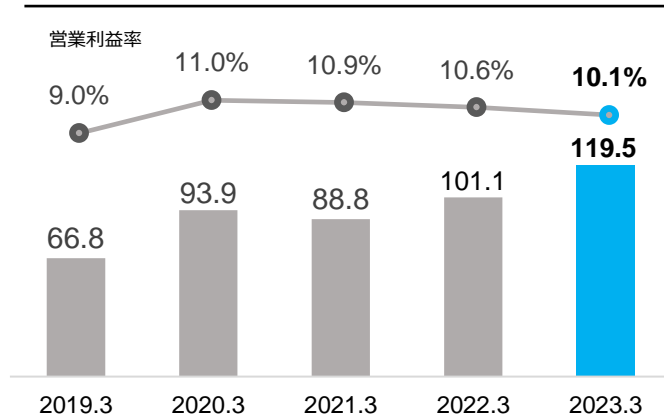


過去5か年の業績推移

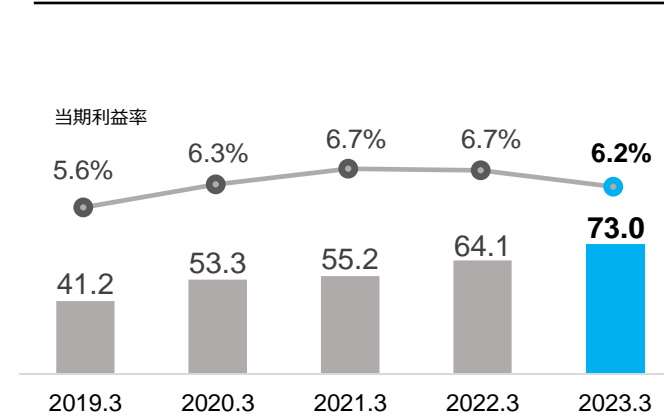
売上収益 (十億円)



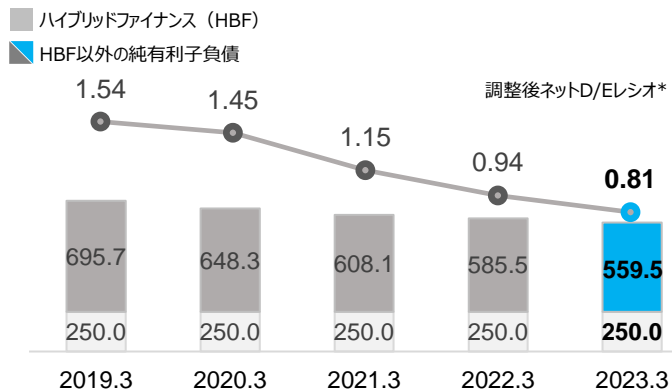
営業利益 (IFRS) (十億円)



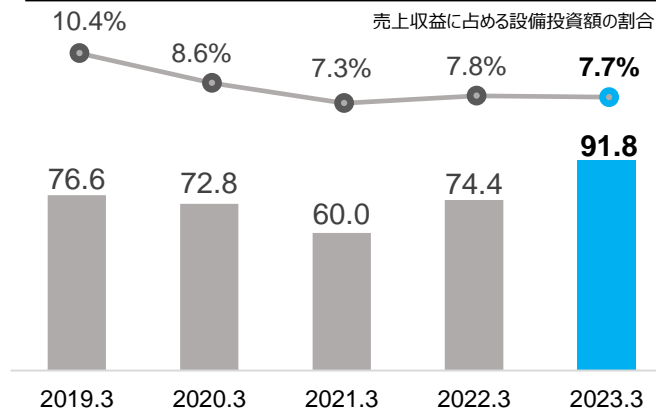
親会社の所有者に帰属する当期利益 (十億円)



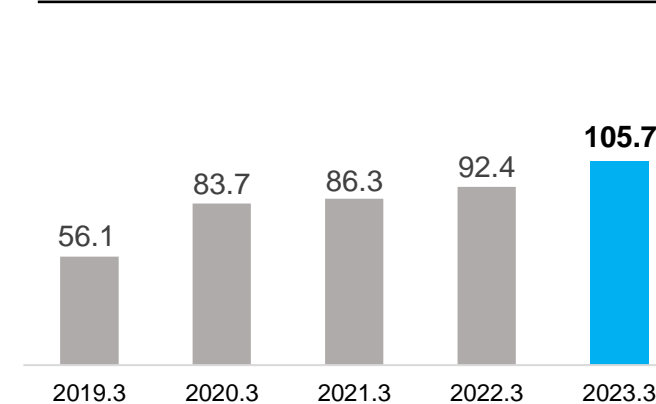
純有利子負債 (十億円)



設備投資額 (十億円)



減価償却額・償却費 (十億円)



*調整後ネットD/Eレシオ：格付機関により、HBFで調達した金額の50%を「資本」として認められていますので、この部分を考慮して算出した安全性（財務健全性）を示す指標です。

*2019年3月期までは工事ベースでの計上、2020年3月期以降は資金ベースでの計上です。

用語解説：EBITDAマージン／ROCE after Tax

EBITDA 利払い前・税引き前・減価償却前利益

(Earnings Before Interest Taxes Depreciation and Amortization)

M&Aや設備投資の影響を除いたキャッシュ・フローに基づく収益性の指標

本指標は、IFRSに基づく指標である営業利益及び当期利益等の業績指標と切り離して考慮されてはならず、また、これらの代替と捉えるべきものではありません。当指標は、他社において示されている類似の名称を付した財務指標との比較については、十分に考慮しなければなりません。

ROCE after Tax 税引き後使用資本利益率

(Return On Capital Employed after Tax)

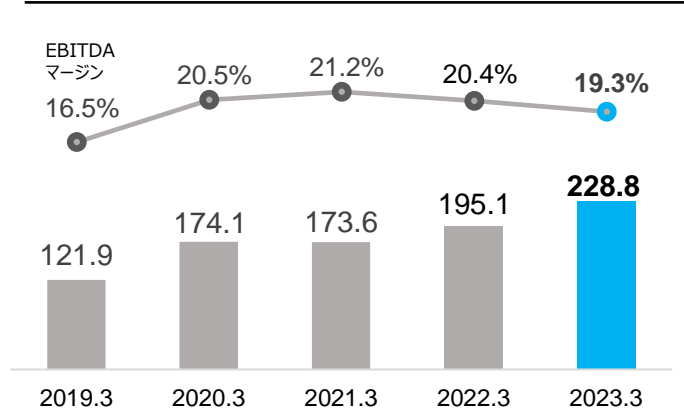
$$= \frac{\text{NOPAT(利息控除前 税引後営業利益:Net Operating Profit After Tax)}}{(\text{有利子負債} + \text{親会社の所有者に帰属する持分}) *}$$

* 前期及び当期の比較年度末の金額平均を用います。

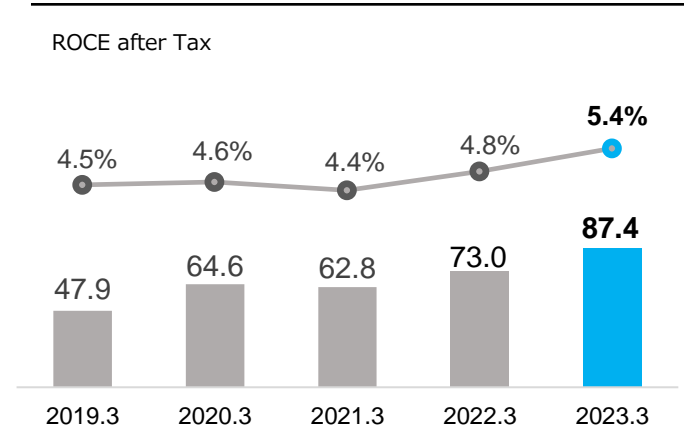
収益力や投資効率に基づく資本効率性の指標

本指標は、IFRSに基づく指標である営業利益及び当期利益等の業績指標と切り離して考慮されてはならず、また、これらの代替と捉えるべきものではありません。当指標は、他社において示されている類似の名称を付した財務指標との比較については、十分に考慮しなければなりません。

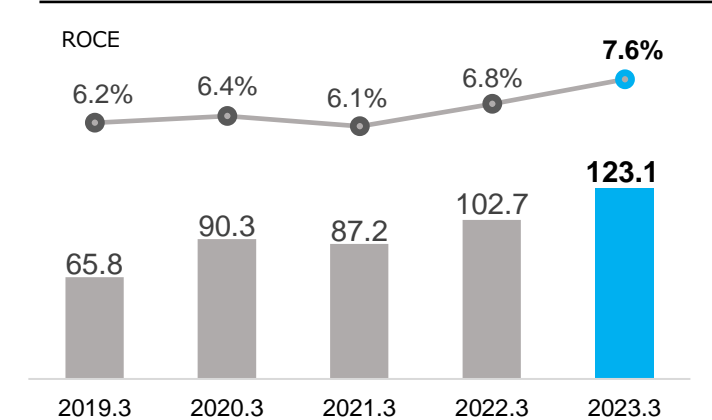
EBITDAマージン and EBITDA (十億円)



ROCE after Tax 及び NOPAT (十億円)

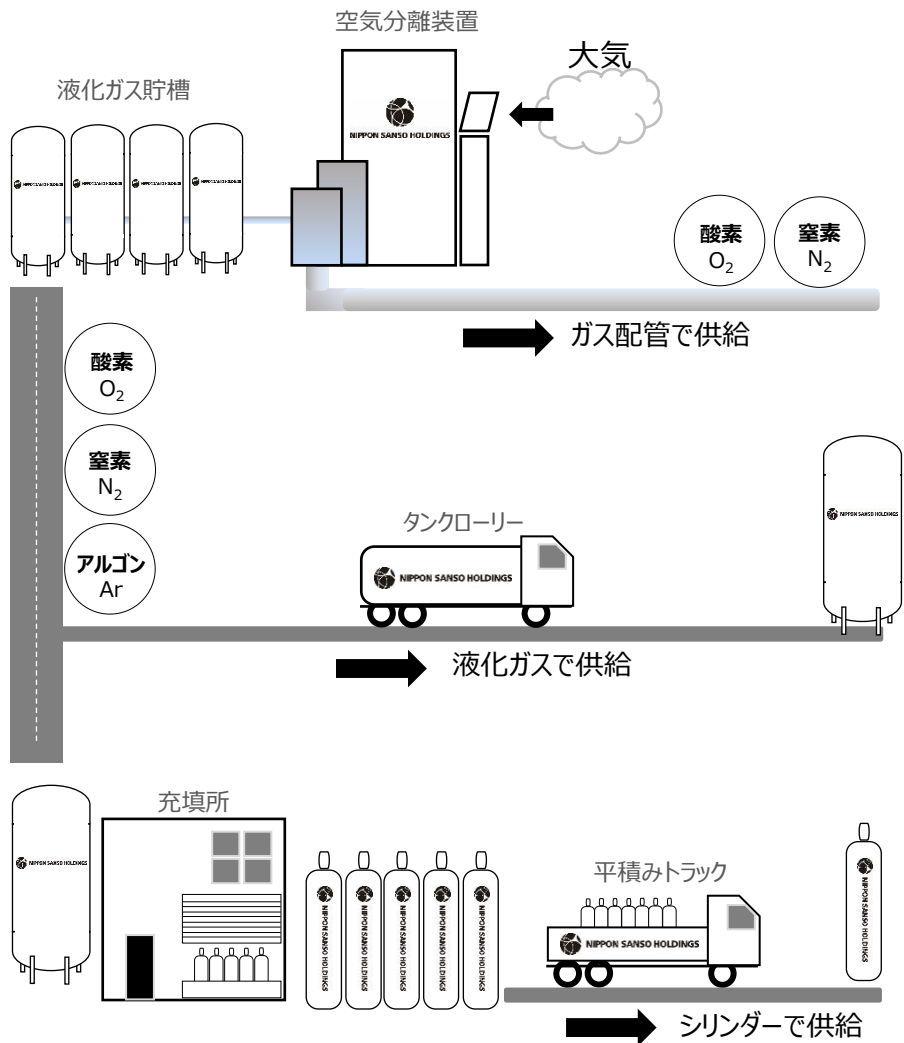


(Reference) ROCE 及びコア営業利益 (十億円)

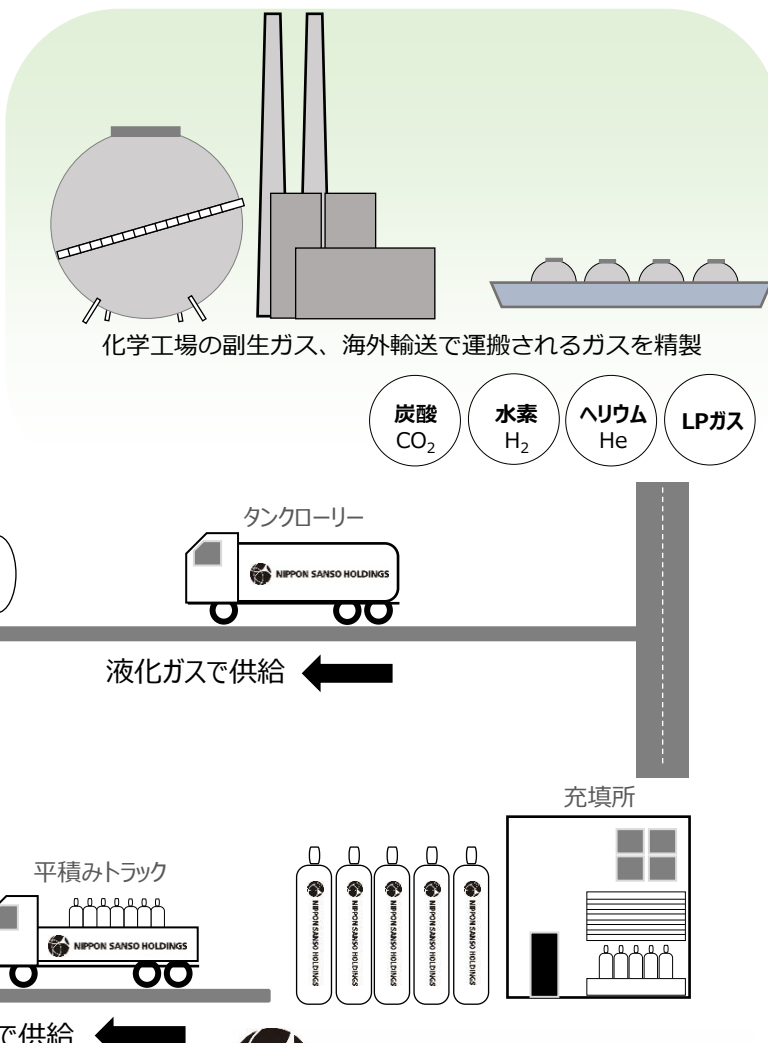


産業ガスの供給モデル

エアセパレートガス



その他のガス



オンサイト On-site

主要な供給先 (業種)

鉄鋼 石油化学 石油精製

客先の隣接地に生産工場を設置し、配管を直接繋いで、常時供給する形態 (大規模供給)

バルク Bulk

主要な供給先 (業種)

自動車 造船 ガラス・製紙
 建設機械 製薬・医療 食品・飲料
 液晶パネル 太陽光発電 半導体

客先構内に液化ガスの貯槽を設置し、ガスの利用方法に応じて供給する形態 (中規模供給)

パッケージ Packaged

主要な供給先 (業種)

在宅医療 先端医療 公衆衛生
 技術開発 研究開発 建設工事

客先に充填容器 (シリンダー) を配送し、ガスの利用方法に応じて供給する形態 (小規模供給)

さらに詳しい情報は、こちらまでお問い合わせください。

投資家・株主の皆さま

IR部

Tel : 03-5788-8512

E-mail : Nshd.ir@nipponsanso-hd.co.jp

今後の投資家向け開催予定イベント

2024年3月期 第3四半期決算発表 2024年2月2日（金）

www.nipponsanso-hd.co.jp

日本酸素ホールディングス株式会社（証券コード：4091）

本社所在地：〒142-0062 東京都品川区小山1-3-26



NIPPON SANZO HOLDINGS

The Gas Professionals

© 2023 NIPPON SANZO Holdings Corporation All rights reserved